

JA 全農 E T センター ニュース 平成 21 年 4 月号

昨年度は畜産・酪農の経営状況の悪化の中においても、ユーザーの皆様方には本会 E T センター受精卵を積極的に御利用いただきましたことに感謝申し上げます。今年度も E T センター生産グループ・研究グループ・笠間分場スタッフ一同、より安心して御利用いただける品質にこだわった受精卵を製造・供給していく所存ですので何卒よろしく御願い申し上げます。今月号は本会受精卵の作成においてセンター内で実施している種々のルーチン作業事項を紹介させていただきます。

1. 供卵牛の衛生検査とワクチネーション

導入時におけるヨーネ病および白血病・その他種々衛生的検査を自主的に実施して、問題があれば供卵牛から除外しております。また導入時およびその 1 月後（採卵には影響しない時期に投与）にスツクガードの 2 回接種および 1 年 1 回のブースター効果を狙った全頭接種（採卵には影響しない時期に投与）を行っております。

2. 供卵牛の遺伝子病の全頭検査

受精卵作成時の A I において遺伝子病発生の可能性のある交配を避けるために、当センターでは全ての黒毛和種供卵牛の現在分かっている 6 種類の遺伝子病の保因について検査を実施しております。すなわち、上記 6 種類の遺伝子病の発生する可能性のある受精卵は生産しておりませんので、御安心ください。

3. 受精卵の品質管理

凍結受精卵の品質管理は本場、分場ともに、熟練責任者が品質判定を行い、国際ランクの 1.0-1.5 の品質のみを凍結保存しております。また採卵開始から受精卵の凍結までの時間は 3 時間以内を厳守事項として実施しております。

4. 受精卵の衛生管理

回収受精卵は 10 回洗浄を実施してから、新鮮 E T または凍結保存しております。また受精卵の採卵液・保存液または凍結液に用いる血液製剤は使用前に必ず、全てのロットを検査し、白血病ウイルスおよび B V D ウイルス等がフリーであるか否かを調べ、ウイルスフリーと判明したもののみを本場および分場では利用しております。したがって、凍結液等に利用する血液製剤から病気を伝播する可能性はありませんので御安心ください。

5. 受精卵の凍結保存

すべての凍結卵は国際特許を取得している全農ダイレクト法によって実施しております。受胎率の安定感是利用していただいた方々には説明は不要ですが、初めて御利用の方は是非、本会凍結受精卵の受胎性の高さを御確認ください。

6. 供卵牛の遺伝的評価

本場および分場作成受精卵由来産子の現場での肥育データを収集し、BLUP 法による推定育種価の算出を行い、下位育種価のものから優先的に選抜淘汰を行なうと同時に上位グループからの E T 産子を供卵牛に加えていく育種的選抜を実施しております。本会受精卵由来のさらなる産肉データの集積に向けて、現在、新たな取り組みを実施中です。